

京都市地域・多文化交流 ネットワークサロン通信

発行日 2014年1月30日 編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン 第9号

4月12日に東九条春まつりを開催します



昨年の第2回東九条春まつりの様子

2013年12月12日(木)に東九条春まつりの第1回実行委員会がおこなわれました。東九条春まつりは、今年で3回目(フェスティバルとしては4回目)となり、登録団体の皆さんが委員となって実行委員会を構成しています。実行委員会は、第2回(1月8日)、第3回(1月29日)と回を重ねるなか、毎回20名以上の

方々が参加されており、今年は4月12日(土)に東九条春まつりを開催することが決定されました。

実行委員会では、委員の皆さんがステージ班、出店・体験コーナー班、文化祭・写真展班、広報・ボランティア募集班に分かれ、各班で企画を話し合いながら内容を深めています。昨年から取り組まれています、地域の高齢者の皆さんが発信の主体となる企画もさらに充実することになりました。また、ステージでは、地元の京都市立凌風中学校から吹奏楽部の皆さんに演奏していただくことになりました。

昨年に引き続き、実行委員長に就任された日本自立生活センター(JCIL)の矢吹文敏さんは、日頃から「誰も排除されない社会を目指す」と言われています。当然、東九条春まつりも誰も排除されないことを目指しています。実行委員会が企画だけの会議に終わらず、誰も排除されないための議論が出来る場にしていきたいと思ひます。

(前川 修 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン)

2013年度ボランティア講座開催報告

第2回 こころ病むとき、「生きづらさ」とは？ ～統合失調症への理解から～



(左より)梅林秀行さん、西川健一さん、
崔炯仁さん、保田美幸さん

2013年7月20日(土)、登録団体であるNPO法人京都暮らし応援ネットワーク(6頁参照)との共催で2013年度第2回ボランティア講座「こころ病むとき、『生きづらさ』とは？ ～統合失調症への理解から～」を開催しました。

精神疾患のなかにはさまざまな病気や障害があり、必要とされる支援・サポートも異なります。私たちは当事者の相談や支援に携わる際、どのような心構えや知識・技術が求められるのでしょうか。本講座ではいわくら病院の精神科医である^{チエヒロイン}崔炯仁さんを講師にお迎えし、統合失調症についての基本的な知識や患者さんを取りまく社会の状況などについて学びました。

また後半は、様々な「生きづらさ」を抱える人たちからの電話相談を受けている京都暮らし応援ネットワークから、梅林秀行さん、西川健一さん(精神保健福祉士)、保田美幸さん(京都暮らし応援ネットワーク副代表)をお迎えし、崔さんを交えて、現代社会の「生きづらさ」をめぐる問題についてのパネルディスカッションを行いました。ここでは、様々な困難を抱える人が社会的に排除され、「生きづらさ」を感じているなかで、一面的な支援を越えて、互いに寄り添う場が求められていることが強調されました。

第3回 外国籍市民への支援を学ぶ ～APTの活動から～

2013年10月26日(土)には、登録団体である京都YWCAより岡佑里子さんを講師にお迎えして、第3回ボランティア講座「外国籍市民への支援を学ぶ ～APTの活動から～」を開催しました。

現在、日本に住む外国籍の市民は200万人を超えています。「多文化共生社会」の実現がめざされる一方で、地域に暮らす外国籍市民のなかには、言葉や文化、制度の違いに直面しながら、適切なサポートを受けられず、様々な困難を抱えて生活している人も多くいます。本講座では京都YWCAが実施する外国籍市民の支援活動APT(Asian People Together “アプト”)の紹介を通じて、今日の外国籍市民を取り巻く状況について学びました。

京都市地域・多文化交流
ネットワークサロン講演録
多文化社会を生きる
好評配布中

今回はまず、簡単なワークショップによって、外国籍市民が在留資格の違いによって直面する様々な課題について考えました。また、APTの多言語による電話相談・支援活動の実状から、外国籍市民を取り巻く「言葉の壁」「制度の壁」「こころの壁」という3つの「壁」の存在が指摘されました。

2013年度 東九条を知る学習会

京都市地域・多文化交流ネットワークサロンでは、サロンが位置する東九条地域における歴史や文化、地域を取り巻く諸問題などについて理解を深めるための学習会を主催しています。

第1回 『東九条の語り部たち—14人の聞き取り報告』合評会

2013年8月9日（金）に開催された2013年度第1回〈東九条を知る学習会〉では、7月に発行された京都市東九条地域の高齢者を対象とする聞き取り調査の報告書『東九条の語り部たち—14人の聞き取り報告—』の合評会を行いました。

報告を担当された小川伸彦さん（奈良女子大学研究院教授）は同書について、植民地下の朝鮮での暮らしや日本への渡航と移動歴、戦前・戦後の労働や暮らし、京都あるいは東九条地域の歴史



熱心な議論が行われた合評会の様子

などを辿ることができる歴史的資料であると同時に、生活や文化をめぐる価値観や民族意識などを窺い知ることができると指摘されました。また、「聞き取り」の困難さとその可能性など、調査そのものの意義についても評価されました。当日は多くの方々が参加され、調査への関心の高さが窺えました。

第2回 子どもの心のSOSへの気づき ～心を見わたせる心を育てる～

2013年9月20日（金）に開催された第2回〈東九条を知る学習会〉では、第2回ボランティア講座（2頁参照）に引き続き、いわくら病院の精神科医の崔炯仁チェヒョクインさんを講師にお迎えして、「子どもの心のSOSへの気づき ～心を見わたせる心を育てる～」と題するお話を伺いました。

貧困や虐待、いじめ、家庭の機能不全、ゲームやインターネットの影響など、子ども達を取り巻く社会のありようが大きく変化するなか、子ども達が心や身体に不調を来し、行動によってSOSを発することが増えていると言われていています。それは東九条地域においても同様です。今回の企画は、登録団体である希望の家児童館など、日常的に子ども達と接する施設の職員さんの切実な願いから生まれました。

崔さんのお話では心が暴発してしまわないためのカギは、子どもの「心を見わたせる心」、つまり自分自身や相手の発言・行動の背景にある心理状態を理解できる力を育てることだということです。そのためにもまず、大人自身が「心を見わたせる心」を持つことが大切ということでした。

重版出来！

東九条の語り部たち

—14人の聞き取り報告—

京都市地域・多文化交流

ネットワークサロンにて配布中

2013年度も世界の料理教室が好評

京都市地域・多文化交流ネットワークサロンが主催する〈世界の料理教室〉は毎回大人気。参加予約は先着順ですが、募集を開始すると、いつもあっという間に一杯になってしまいます。

第1回 フィリピン料理



木之本マリルさん (右)

2013年6月15日(土)に開催された2013年度第1回〈世界の料理教室〉はフィリピン料理です。今回は東九条在住の木之本マリルさんにフィリピンの家庭料理を教えていただきました。メニューはもやしを使ったフィリピン風春巻き(ルンピアン・トーゲ)、濃厚なのに意外とあっさり味のマカロニスープ、そしてナタデココがたっぷり入ったフルーツサラダの3品です。完成した料理をみんなで試食しながら、マリルさんからフィリピンの生活や文化についてのお話も伺いました。

第2回 イギリス料理

2013年10月5日(土)に開催された第2回〈世界の料理教室〉では、ケヴィン・ルーカスさんを講師にお迎えして、イギリスの家庭料理を教えていただきました。メニューは定番のフィッシュ・アンド・チップスに加えて、カレーピラフのようなケジェリー、サクサクのナッツ・ロースト、手作りデザートのアップル・クランブルという4品です。軽妙なトークで場を盛り上げてくれたケヴィンさん。日本ではあまり知られていないイギリス料理ですが、参加者は素朴ながら味わい深い料理の数々を楽しんでいました。



ケヴィン・ルーカスさん

登録団体
共同企画

エルシステマ・コンサート ルネサンスからバロックの愛の歌



平井さん(左)と佐野さん

2013年7月13日(土)、登録団体であるエル・システマ無償の音楽教育推進協会とネットワークサロンが共催するイベント「ヨーロッパの古い音楽 ルネサンスからバロックの愛の歌」が開催されました。エル・システマの生徒たちによるギター演奏の発表会に続いて、後半のコンサートではソプラノの平井満美子さんとリュートの佐野健二さんのお二人が奏でるルネサンス期、バロック期の歌曲の数々に、多くの方々が魅了されていました。珍しい楽器もたくさん紹介していただき、楽しい時間となりました。

ネットワークサロンで凌風学園が「光と風」学習を実施

2013年12月6日（金）に、「光と風」学習（総合的な学習の時間）の「町のすてきを見つけよう」という学習で、朴実先生から東九条マダンについてのお話を伺いました。お話を伺う前に、東九条マダンの写真を見たり、参加したことのある子どもたちの体験談を聞いたりして、とても興味を持っていま



楽器を手に東九条マダンの魅力を語る朴実さん

した。東九条マダンが始まった由来を聞き、普段はなかなか見ることのない人々の思いや願いに触れることができました。その後、東九条マダンで使われている楽器を演奏させて頂きました。朴先生が歌って下さった「アリラン」に合わせ、楽器を演奏する子どもたちの姿は笑顔でいっぱいでした。「おもしろい音がする！」「どこかで聞いたことあるよ！」など、友達同士で話している様子も見られました。なかなか演奏することのできない楽器を演奏することができ、子どもたちはとても新鮮だったようです。この貴重な経験を学習に生かし、これからも町のすてきを見つけていきたいと思います。

（藤室沙弥加 凌風学園）

登録団体
共同企画

高齢者向けチャンゴ教室

～民謡に合わせてたたいてみましょう!!～

2013年8月31日（土）、京都市地域・多文化交流ネットワークサロンにおいて、2013年夏の特別企画「高齢者向けチャンゴ教室 ～民謡に合わせてたたいてみましょう!!～」が開催されました。朝鮮半島の伝統的な打楽器、チャンゴ（チャング）。東九条地域の高齢者のなかには、「一度自分で叩いてみたかった」という方々も多くいらっしゃいます。

今回のイベントはネットワークサロンの登録団体である東九条マダン実行委員会とオモニハッキョケナリの協力で実現しました。参加者は、ケナリ代表の朴実先生、東九条マダン実行委員長の陳太一先生をはじめ東九条マダンのスタッフから指導を受けながら、民謡「アリラン」に合わせてチャンゴの体験演奏を楽しみました。



独特のリズムを楽しく打ち鳴らす参加者

〈シリーズ〉登録団体との連携・紹介（9）

誰をも排除しない社会を求めて



よりそいホットラインのチラシ

「もう、あなたをひとりにしたくない。どんな人の、どんな悩みにもよりそって一緒に解決する方法を探します」さまざまな悩みの電話相談を24時間365日、無料で受け続ける電話相談「よりそいホットライン」の運営に携わっています。

この厚生労働省モデル事業の実施者は、東日本大震災を契機に生まれた一般社団法人社会的包摂サポートセンターです。さまざまな困難を抱えながら支援にたどり着けずにいる生活困窮者、高齢者、在日外国人、セクシャルマイノリティ、DV・性暴力被害者、障がい者、ホームレス、多重債務者、ひとり親世帯など、社会的に排除されがちな人への支援事業を通して誰もが「居場所」と「出番」を実感できる包摂された社会の実現をめざす団体です。

そして、私たち京都暮らし応援ネットワークは、社会的包摂サポートセンターからの委託を受けて、2012年3月11日に京都のコールセンターとして活動を開始しました。

昨年3月には、全国約30回線の相談電話のコール数が1000万件を突破しました。

暴力被害を受けている、精神疾患・障害を抱えている、行政機関、医療機関からも見放されている、家族の理解が得られず周囲からも排除されているなど、相談の一つひとつが生きづらさを抱えて排除されている状況を浮き彫りにしています。特に「自分なんて生きていく意味がない」、「死にたい」という深刻な相談の場合は、金銭、健康、人間関係などの困難が複合的に絡んでおり、この社会がどんな問題を抱えているかが、相談内容から見えて来ます。

ただ単に福祉制度・社会保障制度の利用につながっただけでは、生きづらさは変わりません。むしろ、最後のセーフティネットである生活保護を利用することによって、逆に社会から排除されてしまう、日本の現実があります。

私たちの活動は一方的に「支援してあげる」「アドバイスして終わり」ではなく、一番大事なことは、相談者と共に考えよりそうこと、「答えをだすこと」ではなく、「あなたと一緒にいるよ」というメッセージを出すことです。必要なのは、他者とつながって生きられること、「そこにいていい」と周囲に承認されることです。

社会のきしみ、ゆがみにどう向き合い変えていくのか、一人ひとりが問われています。

ネットワークサロンに集う各団体がこの地域でセーフティネットを形成し、「まちづくり」に欠かせない役割を果たせるよう、誰をも排除せず、みんなが支え合う社会をめざして、ゆっくと着実に歩んで行きたいものです。

一番しんどい人が生きやすい社会は、誰にとっても生きやすい社会であるはずなのであります。

（藤 喬 NPO 法人京都暮らし応援ネットワーク代表理事）

〈サロン利用者の声〉

料理を「つくる」「たべる」体験を通じて、「多文化共生」について考えるイベント 「コリアン・ランチとフィリピン・スイーツの週末を。」を開催しました！

私たち京都市未来まちづくり100人委員会チーム16「チーム多文化」は、京都に住む日本人も外国にルーツをもつ方も、「ごきげんさん」で暮らせるまちを目指して活動しています。

11月30日、ネットワークサロンとの共同企画により、料理を「つくる」「たべる」体験を通じて、多文化共生について考えるイベントを開催させていただきました。



京都在住の外国人のためのボランティア活動に取り組んでいる方、外国人や料理に興味がある方などが参加されました。

作った料理をみんなで楽しみました

多文化交流の考え方、そして東九条地域の「今」について、ネットワークサロンの前川センター長、本郷さんからお話をいただき、見た目や国籍だけではなく、日本人も外国にルーツを持つ方も、同じ人対人として、お互いの立場を知り、外国にルーツをもつ方は、私たちが当たり前と思っていることでも困っているかもしれないことを意識することが必要という問題提起をいただきました。

午後からは、地域でコリアン料理店を営むペク・ヨンイさん、京都パグアサ・フィリピン・コミュニティの木之本マリルさん・新井エミさんを講師にお迎えして、コリアン料理のチヂミやキムチ、フィリピン料理のフルーツサラダともやしの春巻(Lumpiang togue)づくりにチャレンジしました。

参加者の皆さん、そして私たちスタッフも、講師のみなさんと一緒に和気あいあいと料理を楽しみ、普段体験したことがない味覚を舌で味わうことを通じて、単にお話を聞いて考えるだけではなく、外国にルーツをもつ方の背景にある文化を体感する機会になりました。

私たちも、引き続き「多文化共生」をキーワードに、住みやすいまちの実現に向けて、市民の立場で考えていきたいと思えます。(京都市未来まちづくり100人委員会 チーム16)

「京都市未来まちづくり100人委員会」とは？

京都の未来を築くため、幅広い分野の市民の参加による市民主体のまちづくりを推進することを目的に創設されました。京都のまちづくりについて市民自らテーマを設定し、課題解決に向けた実践を行っています。チーム16は、「外国人にとって住みやすいまち京都」を目指して活動しています。

詳しくは⇒ <http://kyomirai16.blogspot.jp> <http://kyo-mirai.jp/> E-mail: 16tabunka@gmail.com

〈サロンへのメッセージ〉

東九条地域と在日コリアンへの思い



固城五廣大の公演に多くの観客が感動

11月30日、土曜日。京都市地域・多文化交流ネットワークサロンで、私たちコリア NGO センターと東九条 CAN フォーラムの共催で韓国の仮面劇である固城五廣大（コソンオグァンデ）の公演が開催されました。固城五廣大は韓国の重要無形文化財に指定されている仮面劇で、軽快なリズムと踊りのなかで、庶民の両班（貴族）の横暴や抑圧への批判や、生活の中での喜びや悲しみが表現されている伝統芸能です。

京都公演では、韓国から来日した 20 名にもおよぶ演者の素晴らしい演技と踊りが繰り広げられ、東九条地域の高齢者や子どもたちをはじめ、多くの人たちを魅了し、最後には演者、観客が一体になって踊りを楽しみました。公演を終えて、ある在日コリアンの一世のハルモニ（おばあさん）が、笑顔に涙を浮かべながら「故郷を思い出した」と語ってくれたことが印象に残っています。

東九条地域は、京都で最も在日コリアンが多く住む地域であり、歴史的にもさまざまな差別のなかで、たくましく暮らしてきた場所でもあります。

私たちは、東九条にくらす在日コリアンが自分たちのアイデンティティを豊かに感じ、そして共生に向けた交流が地域で少しでも進めばと思い、ネットワークサロンや地域の方々の協力を得て、固城五廣大公演や、6月には在日コリアン2世の映画監督、朴壽南^{パク スナム}さんが沖縄戦で生き残った人々や徴用された朝鮮人の証言で戦争の実態をつづった作品「ぬちがふう（命果報—玉砕場からの証言）」の上映会もさせていただき、地域の方々からも好評をいただきました。これからもネットワークサロンで地域の人たちとさまざまなイベントを企画していければと考えていますので、よろしくお願ひします。

（^{カク}郭 ^{チヌン}辰雄 特定非営利活動法人コリア NGO センター）

◆編集後記

『京都市地域・多文化交流ネットワークサロン通信』第9号をお届けします。本号には 2013 年度のネットワークサロンの取り組みのうち、登録団体との共催や、登録団体から講師をお迎えした共同企画を中心とした活動報告を掲載しています。ネットワークサロンがめざす地域交流や多文化共生の実現には、登録団体の皆様のご協力が不可欠だと考えています。これからも登録団体との連携や交流を強化し、ネットワークをより確かなものにしていきたいと思ひます。

- 所在地：〒601-8006 京都市南区東九条東岩本町 31（京都市地域・多文化交流ネットワークセンター内）
- TEL: 075-671-0108 □ FAX: 075-691-7471 □ E-Mail: salon_kyoto@ck9. so-net. ne. jp
- 開館時間：9時～17時 □ WEB サイト：http://www016. upp. so-net. ne. jp/k_salon/
- JR 京都駅・京阪東福寺駅・市営地下鉄九条駅 徒歩 10 分／京都市バス 42・202・207・208 系統 九条河原町下車